

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2022年（令和4年）2月2日

とうとう長野県も「まん延防止」が適用になり、全県下レベル6の最高水準になってしまいました。活動不足でコロナ太りになり、あわてて「かわらんべの堤防」を歩き始めました。そしたら多目的広場に新しい堤防が出来ておりびっくり！事の真相は、今年5月22日に行われる国土交通省主催の天竜川上流総合水防演習の会場整備の一環だそうです。多目的広場を半年閉鎖して、訓練用の堤防を作っています。お国のやることは規模が大きくてびっくりです。この天竜川上流総合水防演習で、川路地区の水害避難訓練の様子を事前にビデオ収録し、会場で放映したいので協力をお願いしたいと飯田市危機管理室から要請を受けました。地震の避難訓練は毎年実施しておりますので、地区の皆さんも要領を得ていますが、水害を想定した避難訓練は実施したことが無いため、しっかり準備をして実施することになりました。

とは言え、全地区での水害避難訓練の最中にビデオ撮影をするのは、混乱のもとになりかねないとして、2回に分けることになりました。1回目は4月27日に、四区の「サロンあやめ」付近のご近所の皆さんにお願いし、ビデオ撮影用に避難訓練をして頂きます。そのビデオを5月22日の天竜川上流総合水防演習の際に放映します。

そして、1回目の避難訓練の反省を踏まえて、昨年制定した「川路水害予防の日」の6月27日に全地区対象で水害を想定した避難訓練を行います。全地区対象の避難訓練は、今後しっかりと準備して詳細をご説明して参りますが、当面2つのことを検討しなければなりません。一つ目は、飯田市も推奨している、災害時にご近所で避難の呼びかけ合いをする訓練です。川路では各伍組の伍長さんに「呼びかけ人」になっていただこうと考えています。伍長さんが高齢や留守等の際も、近隣者で助け合って呼びかけ合いができるように検討して参ります。

二つ目は「支え合いマップ」の再整備です。6月27日の全地区水害避難訓練の際は、一人で避難するのが困難なお年寄りの皆さんなどを明確にし、一緒に世話をしながら避難して頂く方を明確にして、訓練して頂きます。この「支え合いマップ」は、これまで健康福祉委員会で見直ししておりましたので、それを基に区単位で見直しを行います。それぞれの区で、お一人で避難するのが難しい方を明確にし、支援する方を決めて頂く作業を3月までに実施します。災害は平日の昼間も、休日の夜も起こります。支援する方が勤め人の場合、複数の方を決めておくことも必要です。初めての水害避難訓練のため大変ですが、しっかり準備して進めたいと思います。ご協力を宜しくお願いいたします。



多目的グラウンドと越流堤との間に建設中の新堤防？

川路基本構想の分科会がスタートしました

川路基本構想に向けて課題を掘り下げて検討する分科会「川路農業活性化検討分科会」と「天龍峡観光活性化検討分科会」が、この1月にスタートしました。今後毎月1回のペースで6回ほど検討会を持ち、6月頃提言をまとめて頂きます。

農業活性化検討分科会は1月20日に初会合がもたれ、①数年先後継者不足となる川路の専業農家をどうするのか、②専業農家で利益を上げて行くのは大変であるが、年金を受けながら年間50万円から100万円収益を上げるレベルを目指すなら可能ではないか、③定年退職後農業に従事して頑張っている方が多いが、支援体制は十分か、④川路の田園風景を残すとか防災の観点で田畑を維持することは地域全体で考えることであり、それを農家の皆さんに求めるのは難しいのではないか、等々いろいろな課題提起をして頂きました。今後それらの課題を深掘りして参ります。

天龍峡観光活性化検討分科会は1月27日に開催され、各委員に現状の課題を出して頂きました。①観光協会の活動は、観光の活性化もあるが、地域の子供たちに故郷川路、天龍峡に誇りを持ってもらえるようにしてきたが、子供が減ってきているのが残念、②山の中の田舎に上皇様が2回も訪れてくれた天龍峡は何か魅力があると思われる。その魅力を次の世代に伝えて行くことは重要と考える、③新成人の皆さんが小学校6年の時に書いた天龍峡十勝の書が公民館に展示してあるが、その意味と場所を知っている川路の方が大変少ない。もっと川路の方に天龍峡を知ってもらう試みをすべきである、④天龍峡マルシェ、ナイトミュージアム等新しいイベントが増えているが、勤めている若い人に多くの支援を期待するのは無理がある。新しいイベントを増やすなら、古いイベントを減らすことも必要、⑤昔は坂谷朗盧と対等に渡り会える知識人が川路にいた。その方たちが寺子屋で若者を育て、天龍峡を世に出してきた歴史を川路の方に知って頂くことがまちづくりの仕事と考える、⑥昼神温泉の企業局の様に天龍峡観光を企画する機能が天龍峡には無い、観光協会を法人化して、利益を上げられる組織にすべき、等々ご意見を出して頂きました。最終的には「まちづくりとして天龍峡観光にどう取り組んでいくか!」としてまとめて頂きますが、当面制限無く課題の深掘りをして参りたいと考えております。

天龍峡ナイトミュージアム再開になりました

皆さん既にご存知のように、「天龍峡ナイトミュージアム」が規模を縮小して2月1日から実施されることになりました。1日500名限定。飲食を伴うイベントは中止となります。インターネットでの申し込みが必要となりますが、お孫さんをお願いして登録し、是非お出かけ下さい。右の写真が今年の目玉ですが、実物で見ないとその良さは判りません。きっとびっくりされると思います。



龍角峰への龍の動きのある投影

匿名の方から図書券を寄付して頂きました

昨年暮れ、川路自治振興センターの郵便受けに、1万円の図書券が入った封筒が投函されていました。匿名の方で、「川路の子供たちのために」という手紙も同封されておりました。コロナ禍で重苦しい雰囲気が漂っている中、大変心温まる贈り物にまちづくり役員も大喜び。川路へのふるさと納税に関しましても、多くの皆さんのご寄付が集まってきております。これらの皆さんのご厚意を無にしないように、しっかりとまちづくりの活動に役立てて参ります。ありがとうございました。

